**浜名湖ガーデンパークについて**

浜名湖ガーデンパークは、浜名湖に突き出た小さな半島の突端に位置し、56ヘクタールある広々とした緑地です。園内では世界中から集めた何千種類もの植物や花の多様な庭園が手入れされているので、同園は全体に魅力に溢れ、あらゆる人の好みにあう植物相を展開しています。その中には、春に明るい色で咲くチューリップ、夏に優美に咲くスイレン、秋に金色に色づくイロハモミジがあります。

浜名湖ガーデンパークには、世界中の伝統的な庭園を紹介する「国際庭園」、さまざまな低木、花、果樹に溢れる「百華園」、印象派の絵画からヒントを得たコテージと庭園の「花の美術館」など、さまざまな見どころやイベントがあります。園内の施設や庭園の多くは、この場所で2004年に行われた国際的な花の博覧会、浜名湖花博で使用されていたものです。浜名湖花博の成功を受け、翌2005年、浜名湖ガーデンパークがつくられました。

浜名湖ガーデンパークは三方を水に囲まれているため、晴れた日には浜名湖を望む360度の眺めを楽しめます。高さ50メートルの展望塔は、眼下に広がる浜名湖や園内の花畑を見晴らせる絶好のスポットです。浜名湖が浜名湖ガーデンパークにもたらすのは景観の美しさだけではありません。浜名湖周辺では夏には涼しいそよ風が吹き、冬には豪雪にならないことから、浜名湖ガーデンパークでは暖かい気温に向く植物を育てることができます。